

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	株式会社ゆゆし いとほし保育園
----	-----------------

1. 活動のテーマ

<テーマ>

畑 ～自然に触れ、豊かな感性を包括的に育む～

<テーマの設定理由>

当園は小規模で園庭がなく、子供たちの屋外活動は主に公園になります。公園での活動で植物（葉・花・種・実など）に興味を持つ子が多くいました。大人より地面に近い子供の目線で、植物が成長し変化していく様子に興味を持つ物と考えたのが「畑」です。

センス・オブ・ワンダーという言葉があるように、自然から探求心や好奇心を持てるような活動にしたい。野菜作りから「植える→育てる→収穫する」と一連の作業を体験する事で観察力を養いたい。また、どんな形になるの？野菜は切ると同じ色？など育てるだけでなく派生して、色々な好奇心に繋がるような活動にしたいと思います。

2. 活動スケジュール

前期【畑での活動】

- ◆じゃがいも 苗植え・カブの種まき (4月)
- ◆すいか・かぼちゃなど、夏野菜の苗植え (5月)
- ・草むしり、間引き、水やり (4月～6月)
- ・収穫、実食、観察 (6～8月)

【園内活動】(5月～8月)

- ◆野菜関連の読み聞かせ・手遊び
- ◆花や種の塗り絵
- ◆収穫物の観察・すいか割り・野菜スタンプ
- ◆いとほしダンス (後期 畑をステージに発表予定)

3. 探究活動の実践

<活動の内容>

畑活動を通じて子供たち一人ひとりが主体的になれるように、種撒きや苗植えでは1人に1つの苗を用意し育てる喜びを伝え、土の温かさ太陽の光など自然を感じられるように声かけを行いました。また、愛着が持てるようにペットボトルで作ったMyジョーロや自分のマークを付けた、うちわで看板を作り応援したい野菜にたてました。

子供達同士の関わりが持てるように水撒きでは、Myジョーロだけでなく、1つのジョーロを数人で声を掛けながら運ぶ事や、かぶを引っ張って抜く場面では、お友達を応援し合い「うんとこしょ どっこいしょ」と声をかけて収穫しました。

野菜への興味や想像がわくように、「おおきなかぶ」や「やさいさん」などの野菜に関連した読み聞かせを行い、塗り絵では「このお野菜になかな?」「どんな色だったかな?」など子供達が考えられるよう促し、収穫した野菜の観察では外からみる野菜の色と切った時の断面の色や形が違う事を楽しみながら、野菜スタンプやスイカ割りをしました。

収穫した野菜を給食で提供する際は、子供達自身で洗い、調理室に届けてもらいました。献立も目でみて収穫した野菜とわかりやすく素揚げステックにしたり、野菜が苦手な子でも食べられるようにハヤシライスにして形状をかえ多くの子供たちが食べやすいように工夫すると、苦手なものが食べられるようになった子や「わたしが、とったズッキーニ」と難しい野菜の名前を覚えている子など様々で、野菜に関しての関心がとても高かったです。

いとほしダンスを始めました。「ITOHOSHI GOGO DANCE」

畑活動を始めると、気持ちの良いお日様の下で走る・蝶々を追うなど全身を動かしていました。畑でダンスしたら楽しそう!気持ちよさそう!と職員から声があがり、野菜の栽培だけでなく、秋の収穫の時期に披露できるように室内で練習を始めました。

最初は、ストレッチや音楽が鳴ったら回ったり、止まったりリズム遊びをし、回数を重ねるごとに曲に合わせていきました。子供達同士の関わりが生まれるように、ダンス講師から「○○ちゃんのジャンプ じょうずだね」と周囲に目がいく様に声をかけると「すごい」「わたしも みてみて～」など声がありました。また、主体的に活動ができるように「すきなポーズしてみよう」と言うと、自ら考えたポーズをとる子やジャンプをする子など、自由に表現していました。

ダンスの活動をする際は、ダンスをする!とわかりやすく認識できるようにTシャツを作成しました。練習時にもTシャツを着始めると、最初は着替えることが苦手だった子も着替えに意欲がわき率先して着替える子が増えました。

※詳細の活動報告は別紙参照ください。【実働記録】

4. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

畑活動を行う事により、初めは土で汚れることが嫌な子、野菜が苦手な子など不安な事が沢山ありましたが、継続的に活動していくことによって色々な事に目が向き、畑にいきたい！と思う子が多くなり、野菜への関心の高さは驚くものがたくさんありました。

例えば、ズッキーニを『緑で長細い野菜』=きゅうり、黄色ズッキーニを『黄色くて細長いもの』=バナナと呼んでいたが活動を続けると、これはズッキーニだよと自信を持って答えたり、なすでは葉の部分の指さし「ここにはトゲがあるんだ」、「トマトは赤になる前は黄色なんだよ」と話す姿がありました。以前は図鑑を見る時に『どうぶつ』のページが多かったのが『やさい』のページを開く姿や、「なんて名前野菜なの？」と聞いてくる子も多くなりました。

活動を通じて野菜への興味だけではなく、空を見上げて雲の形を見たり自然の匂いを嗅いだり普段の生活と違う活動を経験する事で、順番を待ったり、友達と協力したり、保育者の話をしっかり聞こうとする姿があり、園外での過ごし方を学ぶ事ができました。また、保育園以外の人との関わりもあり社会性も育まれました。

畑に関連した様々な活動（野菜スタンプ・看板作り・野菜の図書・スイカ割りなど）を同時に行う事によりより一層興味へ近づくことができました。後期も継続的に行い都度振り返りをし、その時の子供たちの興味を更に引き出せるような手伝いが今後も重要だと思います。